

1. 作業道における河床路の設置

令和4年8月の大雨により堆積土及び枝条等が流出し、森林作業道の暗渠排水に流入・閉塞したことで路体崩壊が発生。継続的に利用することを踏まえ、流水断面を大きく確保できる洗越工（河床路）の設置を検討した。



洗越工（河床路）の標準規格

洗越工の設置規格は、延長4～6m、車道幅員 3.0m、余裕幅員 0.5m、中詰材（栗石、玉石、目潰し材）の簡易構造

検討事項

- ✓ 重機等が通行するため、車道幅員を3.50mに変更し荷重分散を図る
- ✓ 河床幅により設置が容易に変更可能な木製枠（O&Dウッド）を上下流部に設置することで中詰材の流出防止と常水処理できる透水性構造とする
- ✓ 必要に応じて河床路の前後に路盤材を敷設する

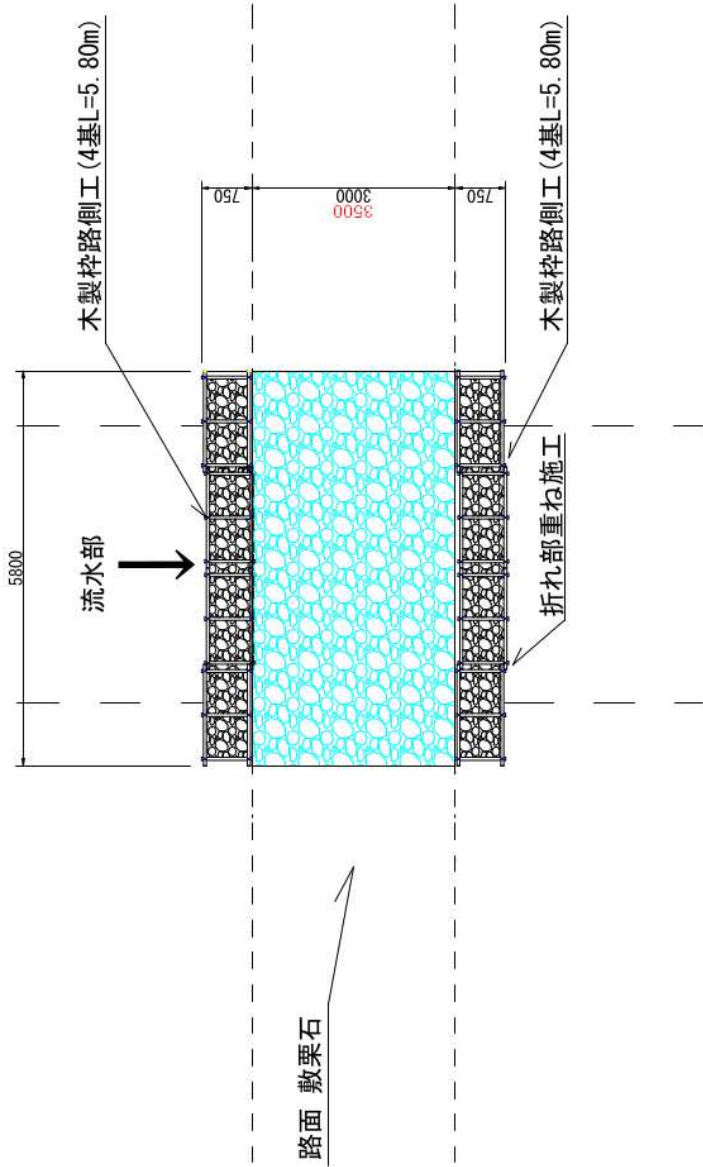


※設置件数：3路線、6箇所（L=4.5m×1箇所、L=5.8m×4箇所、L=10.5m×1箇所）

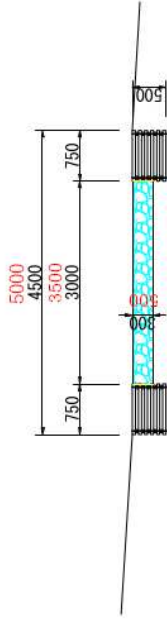
R4年秋以降の施工のため、設置後の経過観察を引き続き実施し必要に応じて設置方法の変更等を実施する予定

河床路詳細図 (L=5.80m)

平面図



横断面図



木製柵路側工 (6基L=5.80m) 12基
路面 敷栗石工 (厚0.30m) 17.4㎡

木製柵
45×45 L=1.50m H=495 W=750



縦断面図

